

# 第1回定例 議会報告



金子卓 堀江鶴治

# 子どものインフルエンザ(季節性)予防接種に 1,000円助成

予防接種1回に限り(15歳未満)

## 妊産婦健診の公費負担 5回から14回に拡大

今年度から子どもがインフルエンザ予防接種を受ける際、65歳以上の高齢者と同様、費用の一部が助成されます。

日本共産党市議団は、子育て支援として、この助成制度の実現を要求してきました。

一昨年の12月議会で、金子議員の一般質問に保健福祉部長は「感染症予防の観点からその必要性は十分認識している」と答弁したものの検討課題となっていました。昨年12月議会の一般質問では「協議検討している」との答弁があり、新年度予算にやっと計上

## デマンド型乗合タクシー

### 御前山地域をモデル地域として試行運行

(運行開始時期は10月を予定)

現在の市内循環交通システムの再構築のため、御前山地域をモデル地域としてデマンド型(予約型)乗合タクシーが試行運行(実証運行)されます。その運営委託料として新年度予算に1500万円が計上されました。

新たなデマンド型交通システム構築の費用としては、旧年度の補正予算で3000万円(内2640万円が国からの臨時交付金)が予算化されています。

当市にデマンド型乗合タクシーを導入するため、「地域公共交通

されました。

助成額は、予防接種1回に限り1000円で、15歳未満の子どもが対象です。今年度の予防接種の実施時期は秋以降です。

今年度から妊産婦健診の公費負担回数が今までの5回から14回に拡大されました。公費負担額は、1回目から14回目までで合計9万5000円です。



### 御前山地域での運行計画(案)

1. 運行の様態について
  - 予約制乗合タクシー(区域運行)
  - 利用対象者は、御前山地域の住民。利用希望者は、事前に利用者登録(無料)が必要。完全予約制(予約のない便は運行しない)。
2. 運賃について
  - 運賃
  - 大人(中学生以上)300円。小学生以下150円。3歳未満児は無料。
  - 利用券…運賃の支払いは、チケット(利用券)制とする。
3. 事業計画について
  - 営業区域
  - 御前山地域全域。ただし利用者の発地または着地のいずれかが御前山地域内であれば、次に掲げる地点との運行は可能とする。
  - 市役所・かがやき・常陸大宮駅・大宮地域内および緒川地域内の医療機関
  - 使用車両はセダン型乗用車2台。
4. 運行計画について
  - 運行日および予約受付日…月曜日から金曜日(祝日、12月29日～1月3日を除く)。
  - 運行時間…午前8時台発から午後3時台発まで。
  - 予約受付時間…午前8時から午後4時まで。利用予定便の1時間前まで予約可(午前8時台発から午前9時台発の便に限り、前日までの予約)。
5. 運行開始時期について
  - 2009年10月(予定)

会議」を3月27日に設置。5月11日に第2回目を開催し、乗合

タクシー実証運行計画案(左記)を協議しました。金子・堀江両議

員は、同会議を傍聴しました。



## 水戸演説会に 1,500人

### 志位委員長が縦横に語る



演説する志位和夫委員長  
(4月8日、水戸市民会館)

志位和夫委員長を迎えての日本共産党演説会が4月8日、水戸市民会館で開かれました。参加者は大ホールから第2・第3会場まで埋まり、1500人を超えました。志位委員長は、日本共産党が伸びてこそ新しい日本への道が開かれるとのべ、「政治とカネ」「内需拡大への4つの転換」「日本共産党の元気の源」などを縦横に語りました。

志位委員長は冒頭、北朝鮮のロケット問題で、「最も重要な事は、北朝鮮による核兵器開発を終わらせ、朝鮮半島の非核化をはかることにある。そのためには外交的努力が唯一の手段であり、6カ国協議での対話の再開が

## 日本共産党が大変元気で

「自民が民主か」選びようがない!?」と安心ください

大切な」と強調。日本政府が道理に立った外交的努力をつくさないまま、軍事的対応を突出させる態度をとったことを批判。北朝鮮に核兵器開発を終わらせ、東アジアに平和をつくるために力を尽くすべしと述べた。



◆「4.8志位演説会」のDVDができました。開会から閉会まで1時間45分の演説会を丸々収録しています。ご注文は、金子・堀江両議員まで。1枚50円です。

## 日本共産党 常陸大宮市議会報告

2009年5月 第10号 発行/日本共産党常陸大宮市議団  
金子卓(岩崎272-4) 堀江鶴治(大岩23)  
☎(52)2422 ☎(56)3030

日本共産党の  
ホームページをご覧ください

<http://www.jcp.or.jp/>

日本共産党 検索

携帯用ホームページ  
<http://www.jcp.or.jp/>  
多彩な情報をお届けします。



一般質問から

特別養護老人ホームの待機者68人

日本共産党の堀江鶴治議員は、一般質問で介護保険の問題を取りあげました。

介護保険制度は今年4月で10年を迎えます。誰もが安心して利用できる、安心して働ける制度にしていくことが求められているとのべ、4月から実施される第4次介護保険事業計画(3年間)について重点をどこにおいて計画したのか質問しました。

保健福祉部長は「介護予防への取り組みや、地域包括センターを中心とする地域ケアの充実を図っていく」「現下の経済状況にかんがみ、低所得者に配慮し介護保

第1回定例議会(3月議会)は新年度予算案を審議。一般会計と特別会計合わせて330億7747万円の予算を可決しました。

日本共産党市議団は、一般会計予算案、高い国保税の国保特別会計、後期高齢者医療特別会計、高い水道料の水道事業会計など、市長から提案された47議案のうち3議案に反対しました。

今議会に提出された「教育予算の拡充を求める請願(意見書の提



堀江鶴治議員

除料の基準額の引き下げ今回おこなった」と答えました。

また、「一定の待機者いることから既存法人による小規模(定員29人以下)特別養護老人ホームを計画期間中に毎年度1か所ずつ、合わせて3か所整備すること。さらに24年度以降にも2か所の整備を見込んでいく」と答弁。「市で把握している特養待機者68人の解消等がはかられる」と答えま

した。堀江議員は、介護保険の利用料が高くて利用できないなど「保険あって介護なし」の状況を改善するために、低所得者の利用料減

出)は趣旨採択。「協同労働の協同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書に関する陳情」は採択となりました。

今定例議会の傍聴者(本会議のみ、新聞社の記者含む)は、議会初日の3月2日が7人、5日が2人、一般質問初日の12日が33人、2日目13日が24人、3日目17人、議会最終日の24日が2人でした。

Advertisement for Japanese Communist Party (日本共産党) featuring a woman and text: '仕事、くらしの悩み お気軽に相談を' (Work, life's troubles, consult easily). Contact info: 金子議員 090-1994-7696, 堀江議員 090-4824-0797.

農業振興策を質問

免制度の創設を強く求めました。

堀江議員は、市内全農家にアンケートを実施して農業振興の方向を模索すべきではないかと質問しました。

経済部長は「5年ごとに農林業センサスが実施されているが、今後の施策の方向性を検討するために農林業センサスで把握しきれない部分について、調査や就農意向および農家が抱えている問題や要望の把握など、調査方法を検討していきたい」と答えました。

米飯給食の拡大を

堀江議員は昨年12月の一般質問に「関係機関と協議し米飯給食を含めた米の消費拡大はかかっていきたい」と答弁したことを取りあげ、その具体化を質問しました。経済部長は「米飯給食の実施回数、現在週2・6回となっているが、新年度は週2・8回を計画、今後さらに週3回に向け拡大に努めたい」と答えました。

霞ヶ浦導水事業の那珂川取水口(水戸市)の着工は、漁業権を侵害するとして茨城・栃木両県の那珂川関係漁協は3月3日、仮処分決定が出るのを待たずに国を相手取った建設差し止めの本裁判に踏み切り、水戸地裁に訴状を提出しました。本裁判には河口の涸沼(ひぬま)でシジミ漁をしている大瀬漁協が新たに加わりました。



金子卓議員

景気悪化・雇用破壊に対する行政の対策を質問

日本共産党の金子卓議員は、一般質問で景気悪化・雇用破壊に対する市行政の対策を質問しました。金子議員は最初に、職を失った方々に対する住居と生活の支援について①緊急一時避難所②生活福祉資金制度③生活保護行政④国保税の減免制度⑤緊急臨時職員の採

国保税の減免制度

用と周知の問題を取りあげました。④の国保税の減免制度の問題では、当市の減免規定で明記されているのは災害時のみであることを指摘し、職を失って国保に加入する方のための減免基準を明確にするよう求めました。



市長は「この減免基準については新年度に明確にしていきたい」と答えました。

金子議員は次に、市内業者の経営を守るために①セーフティネット保証制度の積極的活用と周知②市内業者優先の発注③住宅リフォーム助成制度④小規模事業者登録制度について取りあげ質問しました。

市内業者優先の発注

金子議員は、②の市内業者優先の発注では高秋市議会が「議会議決より」の印刷を市内業者に発注するよう市長に申し入れたことを紹介。具体的な課題として3月5日に議決された補正予算の中の生活対策事業「ごみ収納庫購入費」「避難所案内板設置工事費」「小学校防水・外壁塗装工事費」「大宮公民館防水・塗装工事費」など合計1億4272万円余の予算を市内業者に優先発注し地域経済を振興すべきではないかと質問しました。

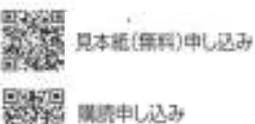
住宅リフォーム助成制度

副市長は「景気がこのような状況なので、強い意識を持って、市内業者優先の受注機会をあたえるという方向で努めたい」と答えました。③の住宅リフォーム助成制度では常陸太田市で3年間の期限でおこなわれた結果、予算額2338万円余に対して工事金額が5億2616万円余と20倍を超える経済波及効果があつたことを紹介し、また「制度の利用促進を働きかけていきたい」との共産党山中泉議への知事答弁(3月5日)を示して制度導入を求めました。

市長は「この住宅リフォーム助成制度については(市長となって)初めての質問と受けとめている。担当部としては現在検討していないという答弁だが、私自身検討したい」と答えました。

「しんぶん赤旗」をぜひお読みください

日刊紙 ● 2900円/月 日曜版 ● 800円/月



日本共産党 常陸大宮市議会事務局 〒309-0807 電話:03(3463)8111

※電話申込みは、金子・堀江両議員まで